

## 米中通商摩擦とシカゴ相場の推移

### 1 米国と中国の通商摩擦

6月中旬に、中国による米国の関税賦課措置への対抗措置の発表が行われ、7月6日には、米国産大豆等へ25%の関税の賦課が開始された。

10日には米国が中国から2,000億ドル相当の輸入品に10%の関税を上乗せする追加制裁の手続き開始を表明し、中国は11日、必要な報復措置をとらざるを得ないとコメント。

### 2 米国の作物の生育状況

米国の春小麦、大豆、とうもろこしは、5月以降、天候に恵まれ、生育状況は良好に推移している。米国農務省によれば、7月8日時点の作柄評価（良～やや良）については、春小麦は80%（前年35%）、とうもろこしは75%（前年65%）、大豆は71%（前年62%）となっている。

### 3 シカゴ相場の動向

良好な米国の生育状況に加え、米国と中国の通商摩擦の激化を懸念し、シカゴ相場は、小麦、とうもろこし、大豆（期近物 セツルメント）とも下落し、7月11日現在、大豆、とうもろこしは今年最安値となった。

（単位：ドル／ブッシェル）

|        | 7月10日（火）   | 7月11日（水）          | （対前日差）        |
|--------|------------|-------------------|---------------|
| 小麦     | 4. 8 9 5 0 | 4. 6 9 7 5        | （▽0. 1 9 7 5） |
| とうもろこし | 3. 3 9 7 5 | <u>3. 3 1 2 5</u> | （▽0. 0 8 5 0） |
| 大豆     | 8. 5 2 2 5 | <u>8. 2 9 7 5</u> | （▽0. 2 2 5 0） |

（ドル／ブッシェル）

2018年1月からのシカゴ相場の推移

